

学びのススメ

今年は実践の年に！



- ① 子曰く、「^い学^ぶて時にこれを習^よふ、また説^よばしからずや。」
→ 先生がおっしゃるには、「学問をして機会あるごとに復習して体得するのは、なんとうれしいことではないか。」
- ② 子曰く、「学^ぶて思^ふはざれば則^{すなは}ち罔^{くら}し。思^ふひて学^ぶはざれば則^{すなは}ち殆^{あやふ}し。」と。
→ 先生がおっしゃるには、「広く学^ぶだけでよく考え研究しなければ、理解はぼんやりとしている。自分の知識で考えるだけで、広く先人の知識や考えを学^ぶなければ、考えが偏って危険である。」と。

上に紹介したのは、中国春秋時代の思想家 孔子の言行や、弟子たちとの問答の記録を収めた『論語』に収録されている2つの言葉です。

この「学びのススメ」を発行して今年で4年目を迎えます。これまで、様々な勉強法や集中力を高める方法などを紹介してきましたが、実践している人は何人いるのでしょうか？今年是非、「実践」するところまでを目標として、この「学びのススメ」を発行していきたいと思います。

さて、上の①の言葉の中に、「機会あるごとに復習して体得…」とあります。これは、昨年度まで取り組んできた「陰山メソッド」がそれにあたると思います。同じ課題に複数回取り組むことで、学習内容が身につく、学力アップへとつながる…なんとうれしいことではありませんか。

②の内容については、この「学びのススメ」や先生方のアドバイスと、それに向き合う君たちの姿勢に通じると思います。たくさんの情報を得たとしても、自分なりによく考えて行動・実践しなければぼんやりとした理解となる。自分の考えが全てだと思い込み、アドバイス等に耳を傾けようとしなければ、考えが偏ってしまって伸びない…。

今から2500年も前に生きた孔子が言った言葉・教えが今に通じるものとして息づいています。

新年度を迎えるにあたって、「繰り返し反復すること」「アドバイスを参考にして実際に行動に移してみる」この2つを意識した家庭学習を実践してみたいと思います。

【その他覚えておきたい学習に関連する『論語』の言葉】

- これを知るをこれを知ると爲^なし、知らざるを知らずと爲^なす。これを知るなり。
→ 自分の知っていることを知っているとし、知らないことは知らないとする。これが本当に知ることなのだ。
＝「分かったふり」「知ったふり」をして分からない自分をごまかさないことも大事！

